



FINANCIAL CAREER TIMES

9月、10月に人事研修担当者様向けのセミナーを開催致しました。
FINANCIAL CAREER TIMESの第1回目は、このセミナーの様子をレポート致します。

September

2009/9/29

「人事評価力向上のためには何が必要か？」



池田 光廣 (パートナー講師)
人事研修スペシャリスト

大企業は言うまでもなく、中小企業と言えども組織内の体制整備は必要なことです。経営理念>人事制度>人事評価制度などなど...しかしながら、制度の中でも人の主観が入り込むことで問題が生じるのが「評価制度」です。立派な体制整備も、一步間違えば社員の士気にも影響する人事評価。

今回は、その人事評価をどのように行うべきか、過去の評価者から得られたアンケートの結果を基にしながら、事例に沿って紹介しました。

評価をする方は、人事部から人事部なりの説明や研修が施されていても、やはりそこは人間ですので、説明や研修での受け取り方に違いが発生します。

また、人事担当者の皆さんも、自社の人事評価制度の運用に際して、管理者・評価者の理解度や運用面での個人差に多くのバラツキがあるという実態を感じていらっしゃるようです。

当セミナーで今回実際に引用したアンケート内容は：

能力評価で何を評価したらイイのですか？ 項目内容がよく分かりません。評価の対象がよく分からないまま評価をしています。スママセン、今でもよく分かっていません。

評価の対象となるものは何か。

上記のような事例をどのように対処すべきかを講師から具体的に説明させて頂きました。

セミナーを終え、受講者の皆様方のアンケートを拝見すると：

自分自身の評価の傾向が理解できるように感じました。

評価の個人レベルのギャップを痛感した。

表現力の平準化は、地道に訓練を重ねるしかないことがわかりました。

評価後の対象者へのフィードバックの方法が当社の課題でしたが、非常に参考になりました。

人事体制の構築、人事評価制度の構築、それらに伴う研修等、今後も満足度の高いサービスを提供して参ります。



October

2009/10/1

「Excelを用いた業務効率化研修」
企画立案へのヒント！



四禮 静子 (パートナー講師)
PCベストトレーナー

当セミナーは、人事研修担当者様に、「業務の効率化 = Excel操作」という切り口で研修を模擬体験して頂きました。

Excelは、業務アプリケーションとしては格段の普及率ですので、あらゆる企業様にとってもお応えできる研修としました。

当セミナーで皆様にお伝えしたかった

ことは、アプリケーションの操作技術の向上ではなく、「業務効率を上げるためのプロのテクニックを学ぶ」ことです。セミナーの内容は以下の2つのテクニックに主眼を置いて体験して頂きました。

ピボットテーブルの活用
関数～表作成便利技
最終的には、これらのテクニックをどんな場面で活用すべきかを考えて頂くことです。

セミナー終了後のアンケートには：
膨大なデータを整理する時に活用出来るテクニックが学べました。
本を見て学習するよりPCを使って体験したほうが数倍身になりました。
とても内容の濃いセミナーで良かったです。
ピボットテーブルは凄い技がたくさんあって、明日からの仕事に応用出来そ

うです。

今回ご参加頂きました人事研修の担当者様には、業務効率化の研修としてアプリケーションのテクニック習得が一役買ってくれることを体感して頂けたことと思います。今後も同様のセミナーを随時開催し、多くの人事担当者様に参加して体感して頂きたいと考えております。今後のセミナーにご期待下さい。また、実際に体感して見てください。

